

人間国宝 磯井如眞・磯井正美展〈展示品一覧表〉

会期: 令和元年11月23日～令和2年2月16日

作者名	作品名	制作年
<p>いそい じょしん 磯井 如眞</p> <p>(明治16年-昭和39年)</p> <p>昭和31年、重要無形文化財蒔醬保持者に認定。香川郡宮脇村(現・高松市亀阜町)生まれ。本名は雪枝(ゆきえ)。</p> <p>香川漆芸の祖と言われる玉緒象谷の作品研究を通じて、点の大小、粗密によって濃淡を付け、奥行きと立体感を表現する「点彫り蒔醬」の技法を創案。美術工芸の研究會を結成するなど、香川漆芸の水準向上に尽力したほか、香川県立工芸学校、岡山大学、香川県漆芸研究所で後進の指導にあたった。</p> <p>昭和36年紫綬褒章を受章。</p>	かんしつすいばんゆうぎよの ず 乾漆水盤遊魚之図	昭和30年
	めいめいぼんへらがき 銘々盆篋描	昭和30年頃
	きんまこうぼん そうずいちようの ず 蒔醬香盆 双瑞鳥之図	昭和33年
	きんまじきろうれいちようずいかもん 蒔醬喰籠靈鳥瑞花文	昭和34年
	きんまこうぼんかちようもん 蒔醬香盆花蝶文	昭和36年
	きんまこうていみぼん 蒔醬工程見本	昭和30年
<p>いそい まさみ 磯井 正美</p> <p>(大正15年-)</p> <p>昭和60年、重要無形文化財蒔醬保持者に認定。高松市西浜新町生まれ。</p> <p>父・如眞に師事して漆芸技術を学ぶ。ベニヤ板を貼り重ね成形した素地「積層」、角剣による点彫りを応用した「往復彫り」等、独自の技法を創案し蒔醬の表現領域を広げた。</p> <p>昭和43年から香川県漆芸研究所講師として後進の指導にも尽力している。</p> <p>昭和61年紫綬褒章、平成10年勲四等旭日小綬章を受章。</p>	かんしつきんまなみもんもりき 乾漆蒔醬波文盛器	昭和33年
	きせいにさいもりき 季星二彩盛器	昭和39年
	きんまちようしつしおさいはこ 蒔醬彫漆潮騒箱	昭和53年
	きんま おきなぐさごうし 蒔醬おきなぐさ合子	平成9年
	きんま くらふじもりき 蒔醬黒富士盛器	平成10年
	きんましゅうみょうのもんによい 蒔醬衆妙之門如意	平成22年
	きんまききゅう たびごうし 蒔醬気球の旅合子	平成24年
	きんましゆんらんていた 蒔醬春蘭手板	昭和55年

*すべて香川県漆芸研究所の所蔵品です

〔会場へのアクセス〕

- ◆JR高松駅より／徒歩20分またはことでんバス「市役所西」下車後徒歩約2分
- ◆琴電瓦町駅より／徒歩約15分
- ◆高松空港より／空港リムジンバス約35分「県庁通り中央公園前」下車後徒歩約5分
- ◆お車で越えの方／高松中央ICより約20分

※当館に駐車場はありませんので、近くの公共・民間駐車場をご利用ください

【お問い合わせ】香川県漆芸研究所

TEL(087)831-1814

〒760-0017香川県高松市番町一丁目10番39号

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/sitsugei/>

